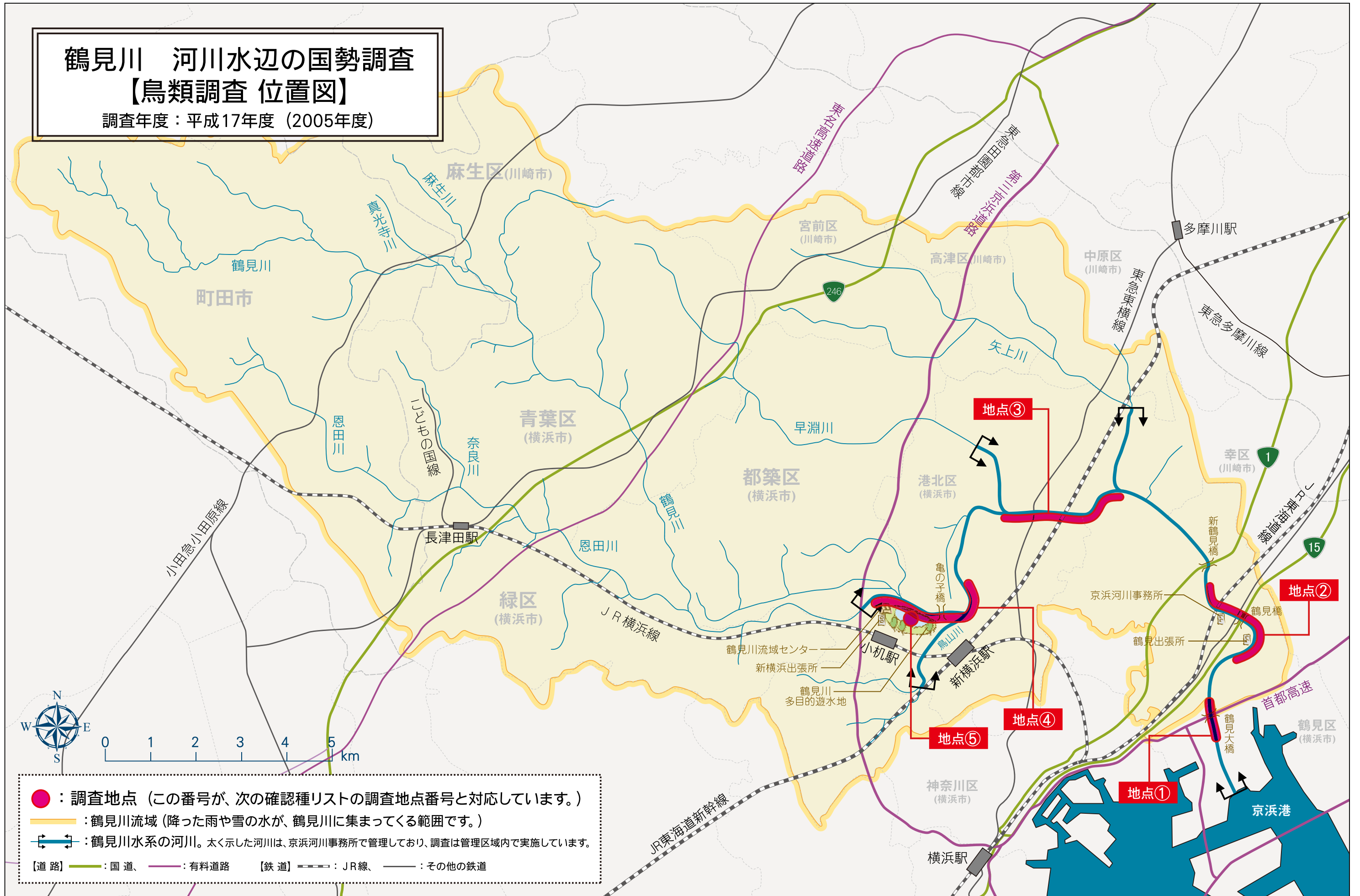


鶴見川 河川水辺の国勢調査 【鳥類調査 位置図】

調査年度：平成17年度（2005年度）



- : 調査地点 (この番号が、次の確認種リストの調査地点番号と対応しています。)
- : 鶴見川流域 (降った雨や雪の水が、鶴見川に集まってくる範囲です。)
- ↔ : 鶴見川水系の河川。太く示した河川は、京浜河川事務所が管理しており、調査は管理区域内で実施しています。
- [道路] — : 国道、— : 有料道路
- [鉄道] - - - : JR線、— : その他の鉄道

鶴見川 河川水辺の国勢調査【鳥類調査確認種リスト】調査年度:平成17年度(2005年度)

No	目名	科名	種名	学名	重要種		特定外来生物等		鶴見川					
					環境省RL	神奈川RDB	特定	要注意	調査地点番号					
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>										
2	カイツブリ目	カイツブリ科	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>										
3	ペリカン目	ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>										
4	コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>										
5	コウノトリ目	サギ科	ササゴイ	<i>Butorides striatus</i>										
6	コウノトリ目	サギ科	アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>										
7	コウノトリ目	サギ科	ダイサギ	<i>Egretta alba</i>										
8	コウノトリ目	サギ科	チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	NT									
9	コウノトリ目	サギ科	コサギ	<i>Egretta garzetta</i>										
10	コウノトリ目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>										
11	カモ目	カモ科	バリケン	<i>Cairina moschata</i>										
12	カモ目	カモ科	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>										
13	カモ目	カモ科	カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>										
14	カモ目	カモ科	コガモ	<i>Anas crecca</i>										
15	カモ目	カモ科	オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>										
16	カモ目	カモ科	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>										
17	カモ目	カモ科	オナガガモ	<i>Anas acuta</i>										
18	カモ目	カモ科	ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>										
19	カモ目	カモ科	アヒル	<i>Anas platyrhynchos var. domesticus</i>										
20	カモ目	カモ科	ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>										
21	カモ目	カモ科	キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>										
22	カモ目	カモ科	スズガモ	<i>Aythya marila</i>										
23	タカ目	タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>								-	-	-
24	タカ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>								-	-	-
25	キジ目	キジ科	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>										
26	ツル目	クイナ科	バン	<i>Gallinula chloropus</i>										
27	ツル目	クイナ科	オオバン	<i>Fulica atra</i>										
28	チドリ目	チドリ科	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>										
29	チドリ目	チドリ科	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>										
30	チドリ目	シギ科	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>										
31	チドリ目	シギ科	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>										
32	チドリ目	カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>										
33	チドリ目	カモメ科	セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>										
34	チドリ目	カモメ科	カモメ	<i>Larus canus</i>										
35	チドリ目	カモメ科	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>										
36	チドリ目	カモメ科	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	VU							-	-	-
37	ハト目	ハト科	ドバト	<i>Columba livia var. domesticus</i>										
38	ハト目	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>										
39	アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ	<i>Apus affinis</i>										
40	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>										
41	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>										
42	スズメ目	ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>										
43	スズメ目	ツバメ科	イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>										
44	スズメ目	セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>										
45	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>										
46	スズメ目	セキレイ科	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>										

鶴見川 河川水辺の国勢調査【鳥類調査確認種リスト】調査年度:平成17年度(2005年度)

No	目名	科名	種名	学名	重要種		特定外来生物等		鶴見川					
					環境省RL	神奈川RDB	特定	要注意	調査地点番号					
47	スズメ目	セキレイ科	タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>										
48	スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>										
49	スズメ目	モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>			減(繁)							
50	スズメ目	ツグミ科	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>										
51	スズメ目	ツグミ科	イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>										
52	スズメ目	ウグイス科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>										
53	スズメ目	ウグイス科	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i>			VU(繁)							
54	スズメ目	ウグイス科	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>			減(繁) / 減(非繁)							
55	スズメ目	シジュウカラ科	シジュウカラ	<i>Parus major</i>										
56	スズメ目	メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>										
57	スズメ目	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>										
58	スズメ目	ホオジロ科	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>			VU(繁)							
59	スズメ目	アトリ科	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>			減(繁)							
60	スズメ目	カエデチョウ科	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>										
61	スズメ目	ハタオリドリ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>										
62	スズメ目	ムクドリ科	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>										
63	スズメ目	カラス科	オナガ	<i>Cyanopica cyana</i>										
64	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>										
65	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>										
合計種類数 : 12目29科65種														

【表の見方】各種が確認された調査地点には、“ ”を示しました。(調査地点の番号は、調査位置図の番号と対応しています。)

なお、下記の重要種に該当する種のうち、環境省RLのカテゴリーが「VU:絶滅危惧 類」以上の種および猛禽類については、保全上の理由から確認された調査地点を示していませんが、いずれかの調査地点で確認されています。

重要種・特定外来生物等選定基準

【重要種】

環境省RL(レッドリスト): 環境省(2006)「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(鳥類)」において、以下のカテゴリーに選定されている種。

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 類(CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類)、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅の恐れのある地域個体群

神奈川RDB(レッドデータブック): 神奈川県生命の星・地球博物館(2006)「神奈川県レッドデータ生物調査報告書」において、以下のカテゴリーに選定されている種。

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 類、CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、減:減少種、希:希少種、要注:要注意種、注:注目種、

DD:情報不足、DD(A):情報不足A、DD(B):情報不足B、不明:不明種、LP:絶滅の恐れのある地域個体群

繁:繁殖期、非繁:非繁殖期

なお、重要種には、上記に加えて「文化財保護法」で指定される「天然記念物」、および「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で指定される「国内希少野生動植物種」に該当する種も含まれますが、本調査の調査地点では確認されていません。

【特定外来生物等】特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき、生態系・人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす(またはその恐れがある)生物として指定されている種。

要注意: 環境省により、外来生物法による規制とは別に、「生態系に悪影響を及ぼすことから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取り扱いについて理解と協力をお願いするもの」として選定された種。

「No.」欄が空白になっている行がありますが、これは確認された生物の「種名が判別できなかったため、科や属等の分類群のみを記録した」ものです。これらは原則として、合計種類数を計数する際、カウントしていません。

なお、河川水辺の国勢調査結果は、全国的に統一されたマニュアルに基づき、集計等のとりまとめを行っています。

マニュアルは「水情報国土データ管理センター(<http://www5.river.go.jp/>)」で公開されています。(河川環境データベース>河川版>河川水辺の国勢調査ツール>平成18年度河川水辺の国勢調査マニュアル基礎調査編[河川版]を参照してください。)